

---

---

**医療哲学**

有 田 幹 雄 非常勤講師  
志 波 充 非常勤講師  
西 村 賀 子 非常勤講師

---

**(前期) 4 年次・選択**

---

**【概要・目標】**

一人一人が思い描く「よい看護」のあり方は一様ではないが、理想の看護の根底にはかならず患者の人権を尊重する姿勢がある。患者の人権を尊重するとは、医療の具体的な場面でどういうことなのか？ それをいっしょに考えていくのが、医療哲学である。なぜなら、患者の人権を守るためには、医療者は倫理を守らなければならないからである。科学的な知識・論理と看護技術ももちろんだが、それらを最大限に活用し患者に真に寄り添う看護を実現するには、医療に関する哲学的考察とそれに基づく倫理的実践は不可欠である。倫理と論理は車の両輪のようなもので、どちらか一方が欠けると、「よい看護」にはならない。すでに看護実習を体験し現場に出ることを目前に控えた 4 年生だからこそ、理想の看護実践の実現のために医療哲学をきちんと考えられる。そしてまた、その必要もある。個々の具体的な事例に沿って、いっしょに考えていこう。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- |                                                                 | (担 当) |
|-----------------------------------------------------------------|-------|
| 1) 医療の場で 2 つの方法のうち、どちらかを選ばなければならないとき、<br>どんな根拠で 1 つを選べばいいでしょうか。 | 志 波   |
| 2) 医療の場で嘘をついても許されることがあるでしょうか。                                   | 志 波   |
| 3) 「風邪は万病のもと」について                                               | 有 田   |
| 4) 医療におけるファクトとフェイク                                              | 有 田   |
| 5) 臨床の場における医療は 100%正しいか？                                        | 有 田   |
| 6) 人口はひたすら増え続けるのか                                               | 有 田   |
| 7) 人間の体って何だろう？—身体観は時代によって違う                                     | 西 村   |
| 8) 誰も知らないから人間はいろいろ考えてきた—死んだらどうなるの？                              | 西 村   |

---

**【評価】**

レポート (80%)、授業への参加状況 (20%)

---

**【教科書】**

特になし

---

**【推薦参考図書】**

---

**【その他】**

---

---

**（後期）4年次・選択**

---

---

**【概要・目標】**

内外の環境に対する適応の失敗や、対人関係から生じる精神的問題を治療する方法として精神療法がある。それを支持法、表現法、洞察法、訓練法などに分けて、その理論と実際について学ぶ。また保健看護の臨床場面でそれがどのように活かされるか、人との距離のとり方、転移、逆転移などの問題についても精神療法的観点から考えられるようにする。

---

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) 心のメカニズムとは
- 2) 人と人とのつながり方を考える
- 3) 力動的精神療法①
- 4) 力動的精神療法②
- 5) クライアント中心療法
- 6) 認知行動療法
- 7) 表現療法
- 8) その他の精神療法

---

**【評価】**

レポート（80%）、出席状況（10%）、参加態度（10%）

---

**【教科書】**

特になし

---

**【推薦参考図書】**

---

**【その他】**

---

(後期) 4年次・選択

---

---

**【概要・目標】**

(概要) リエゾン精神看護とは、心の健康問題を有する身体疾患を持つ患者・家族に精神看護の知識と技術を用いて看護を展開することである。またケアにあたっている看護師のメンタルヘルス支援を行いながら、看護師がいきいきと働くための支援も二次的に含む。

リエゾン精神看護学Ⅱでは、看護師が抱えやすい問題について学び、個人が対処能力を高めるための方法について学ぶ。

(目標) 看護師が抱えやすい心理社会的背景について学び、ストレスを低減するための方法を獲得することを目指す。また、社会人基礎力やレジリエンス、セルフコンパッションの概念を理解し、メンタル不調を未然に予防するための方法を獲得することを目指す。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 社会人基礎力、レジリエンス、セルフコンパッションとは何か
  - 2) 新人看護師が抱えやすい心理社会的問題 (水田)
  - 3) 職場のメンタルヘルスの諸問題について ① 適応障害, うつ病
  - 4) 職場のメンタルヘルスの諸問題について ② 非定型うつ, 発達症群
  - 5) メンタル不調者のスクリーニングとラインのケアについて
  - 6) ストレスマネジメントの方法について
  - 7) リラクセーション演習 (山本)
  - 8) 新卒看護師の不安が強い技術演習 (水田)
- 

**【評価】**

試験 (70%)、授業への参加状況 (30%)

---

**【教科書】**

随時資料を提示する。

---

**【推薦参考図書】**

- ・武用百子編著：いまだきナースのこころサポート，メヂカルフレンド社，2019.
  - ・武用百子著：看護現場のメンタルヘルス支援ガイド，日経BP社，2016.
  - ・五十嵐透子著：リラクセーション法の理論と実際 第2版 ヘルスキア・ワーカーのための行動療法入門，医歯薬出版株式会社，2015.
- 

**【その他】**

メールアドレス momo-bu@wakayama-med.ac.jp

(後期) 4年次・選択/保健師コース必修

---

---

**【概要・目標】**

社会における医療と保健看護の位置づけを把握するとともに、保健・医療・福祉の諸制度を経済学的側面から概観する。さらに、その問題点を分析し、より良い保健・福祉・医療のあり方を追求するにあたって不可欠な医療経済学の基礎的な理論・考え方、医療技術の経済的評価の方法論とその応用について、具体的な例を紹介しながら学習する。

---

**【授業内容・スケジュール】**

**【日本の医療の仕組みとその現状】**

- 1) 医療費の水準と国際比較
- 2) 医療保険制度
- 3) 診療報酬制度

**【医療経済学の基本的な考え方】**

- 4) 医療と経済：経済学の基本的概念
- 5) 市場のメカニズムと医療
- 6) 保険のメカニズムと医療
- 7) まとめ

---

**【評価】**

筆記試験 (授業内で説明)

---

**【教科書】**

プリント配布

---

**【推薦参考図書】**

---

**【その他】**

---

---

**国際保健論**

森 岡 郁 晴 教授  
中 村 安 秀 非常勤講師  
柳 澤 沙也子 非常勤講師

(後期) 4年次・選択／保健師コース必修

---

---

**【概要・目標】**

国際的な保健状況や国際保健医療活動の専門的基盤知識・技術を修得し、グローバルな視点で活躍できる人材の育成を目的とする。また、医療や保健、文化社会の多様性を理解し、健康課題を広い視野で考え、改めて日本の医療や保健の仕組みを考える機会となることを目指す。

そのため、将来国際的な活動としたいと考える学生に限らず、国際的な活動に興味がない学生の受講も歓迎する。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- |                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1. 国際保健の概要、国際理解                 | 森岡 |
| 2. 日本の国際協力                      | 森岡 |
| 3. 国際保健指標                       | 森岡 |
| 4. 発展途上国のヘルスシステム                | 森岡 |
| 5. 母子保健・リプロダクティブヘルス（世界に広がる母子手帳） | 中村 |
| 6. 緊急人道支援（世界から学ぶ支援の国際標準）        | 中村 |
| 7. 国際保健活動の実際（青年海外協力隊）           | 柳澤 |
| 8. アジアの高齢者保健                    | 柳澤 |
- 

**【評価】**

試験（80%）、レポート（20%）、小テスト（0%）、発表（0%）、提出物（0%）、出席状況（0%）、参加態度（0%）、その他（0%）

---

**【教科書】**

指定なし

---

**【推薦参考図書】**

国際保健医療学 第3版 杏林書院 2013

---

**【その他】**

(後期) 4年次・選択

---

---

**【概要・目標】**

将来における保健・看護業務、論文抄読、論文作成・発表に必要な基本保健看護英語を習得することを目標とする。そのために、実際の英語文献を活用し最新の情報や知識を得るとともに、専門用語を理解し読解力を養うこととする。

---

**【授業内容のスケジュール】**

- 1) ～ 3) 臨床実践における英語発表
- 4) ～ 6) 入院時オリエンテーション, 看護技術, 各科で行われる看護の専門用語
- 7) ～ 8) 研究文献の読解

---

**【評価】**

上松：レポート(50%)、授業中の参加態度・発表内容(50%)  
柳川：レポート(50%)、授業中の参加態度・発表内容(50%)  
山本：レポート(50%)、授業中の参加態度・発表内容(50%)  
上記により総合的に評価する。

---

**【教科書】**

講義の時間に英語文献等を配布し、使用します。

---

**【推薦参考図書】**

Maria Spada Symonds, Ros Wright : English for Nursing, Pearson Japan 2013

---

**【その他】**

講義の時間には必ず英和辞書を持参して下さい。

**【概要・目標】**

人々の多様な健康ニーズに応えるために看護職は、保健・医療・福祉連携の中で看護役割を遂行する能力の習得を求められている。そこで、今日の看護教育の状況に至った社会的背景や制度的な変遷を理解し、看護教育が社会のニーズに合わせて変化していることを学ぶ。また、看護教育を基礎教育と継続教育でとらえ、生涯教育としての教育のあり方や課題を探求する。

---

**【授業内容・スケジュール】**

- 1) 看護教育の概念と目的
- 2) 看護教育の歴史的変遷
- 3) 看護教育制度とその背景
- 4) 看護の継続教育と生涯教育
- 5) 看護教育課程と教育方法①
- 6) 看護教育課程と教育方法②
- 7) 看護教育課程と教育方法③

---

**【評価】**

試験 (0%)、レポート (80%)、小テスト (0%)、発表 (0%)、提出物 (0%)、出席状況 (10%)、参加態度 (10%)、その他 (0%)

---

**【教科書】**

指定なし

---

**【推薦参考図書】**

グレッグ美鈴・池西悦子 編集「看護教育学改訂第2版」南江堂 2018  
杉森みどり・舟島なをみ「看護教育学 第6版」医学書院 2016

---

**【その他】**

メールアドレス      [hosoday@nursing.osakafu-u.ac.jp](mailto:hosoday@nursing.osakafu-u.ac.jp)